

続日本
100名城

浜田城跡

ガイド マップ

初代	古田家	古田重治	1619 ~ 1623	<外様> 伊勢国松坂より転封。 城下町を築くが断絶。	菩提寺 恵賢寺 →宝珠院
2代		古田重恒	1623 ~ 1648		
3代		松平康映	1649 ~ 1674		
4代	前期 すおうのかみ 松平周防守家 (松井松平)	松平康官	1675 ~ 1705	<譜代> 播磨国宍粟より転封。 康映による城下整備や 康官による城内庭園整 備が行なわれる。下総 国古河へ転じる。	長安院
5代		松平康員	1705 ~ 1709		
6代		松平康豊	1709 ~ 1735		
7代		松平康福	1736 ~ 1759		
8代	本多家	本多忠敵	1759 ~ 1759	<譜代> 下総国古河より転封。 10年後に三河国岡崎 へ転じる。	西岸寺 ※長安院を 西岸寺と 改称
9代		本多忠盈	1759 ~ 1767		
10代		本多忠肅	1767 ~ 1769		
11代	後期 すおうのかみ 松平周防守家 (松井松平)	松平康福	1769 ~ 1789	<譜代> 三河国岡崎より7代康 福が再度転封。康福、 康任は老中を勤める。 奥州棚倉へ転じる。	長安院
12代		松平康定	1789 ~ 1807		
13代		松平康任	1807 ~ 1835		
14代		松平康爵	1835 ~ 1836		
15代	うこんしょうげん 松平右近将監家 (越智松平)	松平齐厚	1836 ~ 1839	<親藩> 上野国館林より転封。 第二次幕長戦争に敗 れ、美作国久米へ移り、 鶴田藩と改称。武烈は、 江戸幕府最後の将軍 徳川慶喜の弟。	妙智寺
16代		松平武揚	1839 ~ 1842		
17代		松平武成	1842 ~ 1847		
18代		松平武聡	1847 ~ 1866		





MAP No. 4 浜田県庁の門

長州藩の支配が終わり、1870年(明治3年)に浜田県が設置された後、1872年(明治5年)頃に県庁の門として建てられました。1967年(昭和42年)に現在地に移築されました。

MAP No. 5 ニノ門跡

左奥の石垣がニノ門の石垣です。この石垣を進むと高い石垣で方形に囲まれた空間があり、進路を阻む構造(枳形虎口(ますがたこぐち))となっています。浜田城ではニノ門にだけみられます。



MAP No. 3 浜田藩追懐の碑

1989年(平成元年)に先人を顕彰するため建立されたもの。この石碑には、大村益次郎を描いた歴史小説「花神」を縁に司馬遼太郎氏の碑文「浜田城」があり、石見人気質と浜田城の歴史や文化を偲ぶことができます。



MAP No. 1 浜田城資料館(御便殿)

浜田城をはじめ、日本遺産である北前船寄港地 外ノ浦(とのうら)や歴史的建造物である御便殿(当資料館)などについて知ることができます。
※入館無料、続日本100名城スタンプあります。
[TEL]0855-28-7151
[開館時間]9:00 ~ 17:00
[休館日]月曜日・休日の翌日・12/29 ~ 1/3



MAP No. 2 駅鈴モニュメント

第12代浜田藩主 松平康定が松坂(三重県松阪市)の本居宣長に贈った駅鈴を模したモニュメント。石見地方の地場産業である石州瓦の技術を用いて、浜田市と松阪市の友好の証として製作されました。

浜田城の築城と構造

初代浜田藩主 古田重治が、その居城として1620年(元和6年)から築城に着手、1623年(元和9年)までには城及び城下が整ったといわれています。浜田城は標高67mの丘陵上に築かれた平山城で、「亀山城」とも呼ばれていました。

山頂に本丸を構えて、三重櫓と呼ばれる天守や六間長屋等が設け、中腹の二ノ丸には二ノ門や焔硝蔵、時打番所等が設けられていました。東側山麓には堂々たる規模を持つ中ノ門があり、二ノ丸と三ノ丸の境となっていました。三ノ丸には

東側山麓に御殿をはじめ、多くの蔵や役所、番所等が設けられ、浜田川が流れる西側山麓には庭園や茶屋がありました。また、夕日ノ丸にも茶屋をはじめ、当初は櫓も建てられていました。



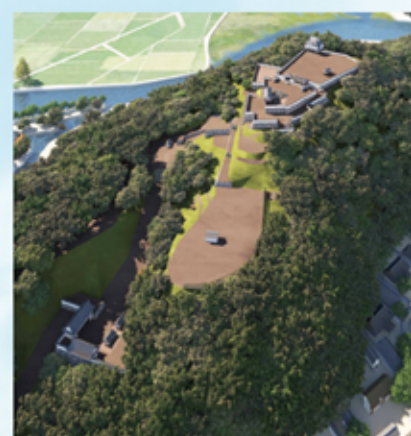
天守(三重櫓) (復元:三浦正幸 制作:株式会社エス)



本丸・二ノ丸主要部周辺 (復元:三浦正幸 制作:株式会社エス)



- ①三重櫓 ②玉蔵 ③六間長屋 ④本丸一ノ門
- ⑤二ノ門 ⑥出丸 ⑦焔硝蔵 ⑧中ノ門
- ⑨裏門 ⑩大手門 ⑪御殿 ⑫南御殿
- ⑬茶屋 ⑭庭園 ⑮船蔵



上空から望む本丸と二ノ丸

(復元:三浦正幸 制作:株式会社エス)
左下の谷間に中ノ門があり、この谷間を登って登城していました。また、中腹の大きな曲輪(くるわ)には焔硝蔵が設けられていました。山頂周辺は石垣と堀に囲まれ、二ノ門や本丸一ノ門などがあり、本丸の奥に天守がありました。



三ノ丸 (復元:三浦正幸 制作:株式会社エス)



石見国亀山城図 1862年(文久2年)
浜田城の具体的な姿を知ることのできる絵図です。(浜田市教育委員会提供)



MAP No. 6 本丸

左奥に天守(三重櫓)がそびえていました。ここから浜田市街や日本海が一望できます。



MAP No. 7 中ノ門跡

多門(多門造、渡門)ともいわれ、門の上に屋敷があり緊急時には家老が詰めるなど重要な門でした。

MAP No. 8 濱田護國神社 社務所



観光・登城の記念にぜひお買い求めください！ 浜田城跡 御城印 全2種



浜田城跡の御城印やペーパークラフトなどを販売しています。※続日本100名城スタンプあります。
[TEL]0855-22-0674
[営業時間]8:00 ~ 16:00 [休休日]なし